

秋田県横手市の工芸品

Crafts of Yokote City, Akita Prefecture

横手市は、秋田県の南部に位置し、山々に囲まれた『横手盆地』の中にあります。

四季が美しいまち横手。雪解けとともに開花する春、

眩しい日差しが作物を育てる暑い夏、山を色付ける木々が美しい秋、

真っ白な雪がまち全体を包み込む冬。

この地域だからこそ生まれた、工芸品がたくさんあります。

横手市の位置



- 1 中山人形
- 2 浅舞絞り
- 3 十文字和紙
- 4 りんご染め
- 5 十文字こけし
- 6 秋田銀線細工

よこての工芸品に関する
お問い合わせは

横手市商工観光部 横手の魅力営業課
TEL 0182-32-2117 / FAX 0182-36-0088
MAIL miryoku@city.yokote.lg.jp



秋田県
横手市

よこてが誇る
この地で生まれた手しごと

よこての 工芸品



Crafts of Yokote City, Akita Prefecture

なが やま にん ぎょう
中山人形 横手地域

中山人形は、土人形ながら精巧な模様と明るい色彩が特徴です。天神やお雛様、花魁などの伝統人形のほか、かまくらや梵天、竿燈など民俗行事をモチーフとした人形も数多くつくられています。

また、中山人形で人気の高い十二支土鈴は、年賀切手のデザインに採用されたこともあり、広く名前が知られています。



令和3年1月、秋田県伝統的工芸品に認定されました。



年賀切手のデザイン▲



りんご染め 増田地域

りんご染めは、りんごの木の剪定作業で切られた枝や葉、果実、または、りんご畑の土などが原材料として使われています。

それらを煮出した液に媒染剤を加えることで、ピンクからオレンジ茶色などの優しい色合いに染まります。



▲りんご染めの原材料が採れるりんご畑



煮出しの様子▲



あさ まい しほ
浅舞紋り 平鹿地域

浅舞紋りは、浅舞地区で発達した、木綿を用いた藍の絞り染めの技法で、模様は200種類以上あります。江戸末期から明治中期頃が一番盛んでしたが、時代の変化に伴い何度か姿を消しました。その後、昭和57年に浅舞紋りの保存会が立ち上がり、絞り技術の復活や伝承のために活動しています。



▲糸で縫い、絞ってから染め上げます。

ハンカチやTシャツ、着物などがあり、西馬音内盆踊りの衣装にも利用されています。



じゅう もん じ
十文字こけし 十文字地域

十文字こけしは、胴が細く頭はらっきょうのような形をしています。頭と胴が一本の木からつくられていることが特徴です。つくられている地域にちなみ「十文字こけし」と呼ばれています。



▲可愛らしく、様々な表情が描かれています

じゅう もん じ わ し
十文字和紙 十文字地域

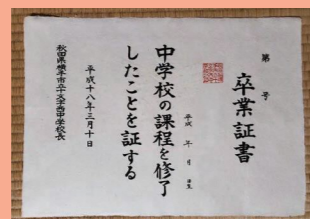
十文字和紙は、江戸時代中期頃から変わらぬ工程でつくられている和紙です。今でも、自家で原材料の楮を育て、蒸しから紙をすくまでの十数工程を昔ながらの手作業で行っています。

現在では、先代の跡を継いで技術を守っている職人が、十文字和紙愛好会の会員を指導しながら、農閑期に和紙を生産しています。



かまくらの灯り

▲和紙が様々な作品となります。



▲十文字和紙で地元の中学校の卒業証書をつくっています。



楮蒸しの様子

あき た ぎん せん ざい く
秋田銀線細工 十文字地域

秋田銀線細工は、主に秋田市で生産されている県指定の伝統工芸品で、横手市内の工房でも制作されています。細く線状にした「純銀」でパーツをつくり、銀枠にはめ込み造形します。

そのアクセサリやデザインは多様性に満ちており様々な作品がつけられています。



▲細かい模様が素敵な銀線細工のピアス

